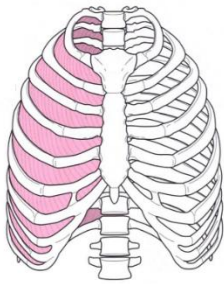
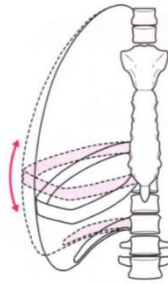


## ① 胸部損傷

### 1-解剖

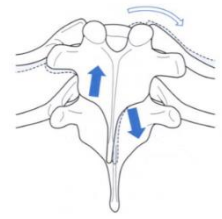
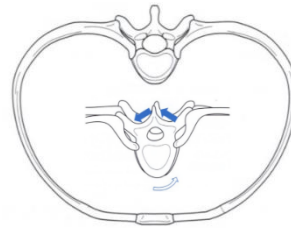


### 2-胸部の運動



### 3-胸椎の運動

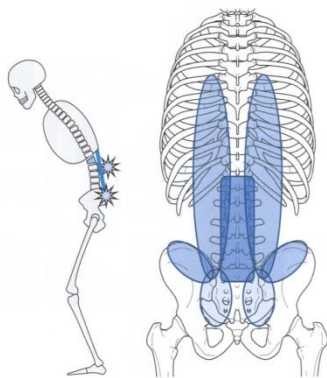
- 胸椎は体幹の回旋に最も作用する
- 肋椎関節や肋軟骨の柔軟性が回旋を補助する



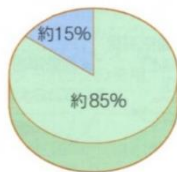
特徴/症状		鑑別を要する疾患
胸肋関節損傷	● 打撲により胸肋関節付近に損傷が生じたもの	● : →
肋間筋損傷	● 胸部損傷で最多 ● 主な症状 : → ※特に回旋時	● : →

## ② 腰痛症 (LBP)

### 1-概要



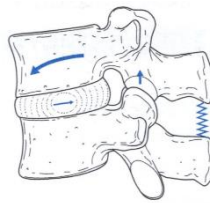
- 筋々膜性-
  - 椎間関節性-
  - 椎間板症
  - 梨状筋症候群
  - 仙腸関節炎
- ※特異的/非特異的



### 2-関節性の構造

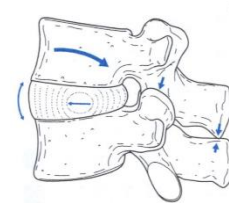
#### ● 屈曲時

- 椎間板の圧迫
- 髄核の後方移動
- 筋/靭帯の伸長



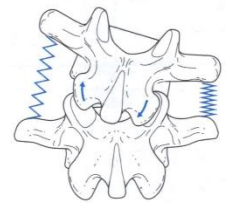
#### ● 伸展時

- 椎間関節の圧迫
- 髄核の前方安定
- 筋/靭帯の弛緩



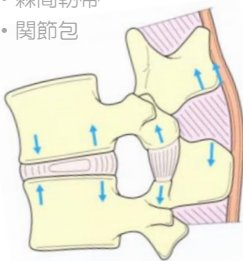
#### ● 側屈時

- 椎間関節
- 同側圧迫/対側離開
- 回旋はほぼ不可

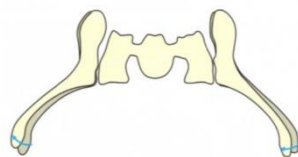


### 3-靭帯性の構造

- 棘上靭帯
- 棘間靭帯
- 関節包

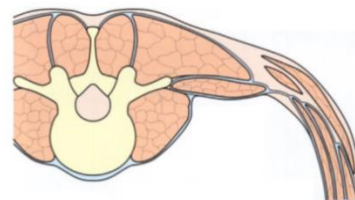


- 仙腸関節
- ※ニュートンテスト

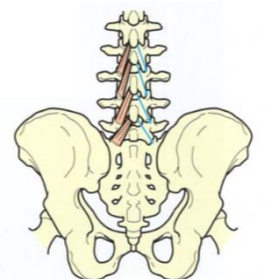


### 4-筋肉構造

- 起立筋
- 腰方形筋
- 腸腰筋



- 多裂筋



分類		概要/特徴
1 関節性	a. 椎間関節	● いわゆるギックリ腰 (捻挫腰椎) ● 別名 : →
	b. 椎体間連結	● はっきりしない腰部鈍痛と臀部痛 ● 要鑑別 : →
2 靭帯性	a. 椎骨部	● 過度の屈曲で発生 ● 棘間靭帯の炎症 : →
	b. 仙腸関節	● 仙腸関節部や臀部の疼痛 ● 疼痛誘発テスト : →
3 筋・筋膜性		● 筋内圧上昇による局所の循環障害 ● 疾患名 : → ● 臀部の筋では坐骨神経障害が発生 ● 疾患名 : →

### ③ 腰椎椎間板ヘルニア (LDH)

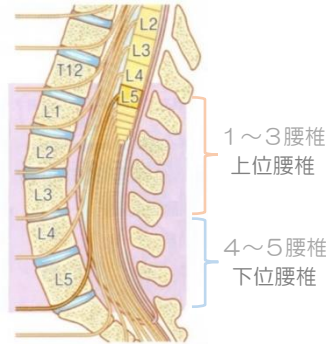
#### 1-概要

・後方に脱出した髄核が神経根を圧迫する疾患  
 スポーツや重量物持ち上げ等で受傷。前屈や  
 咳くしゃみ、排便時のいきみで症状増強

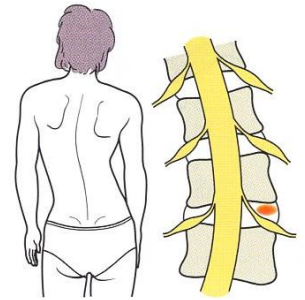


- 好発 20~40 男性
- ①腰痛
- ②可動域制限 (前屈)
- ③下肢放散痛 (一側性)

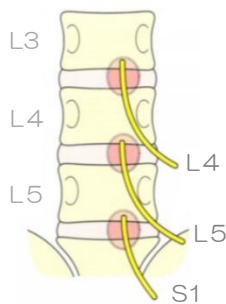
#### 2-障害高位



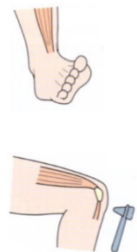
#### 3-疼痛性側弯



#### 4-神経支配



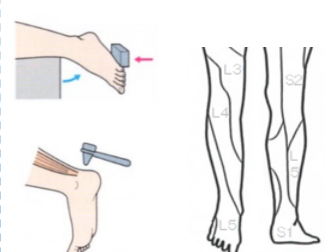
#### 【L4 神経根】



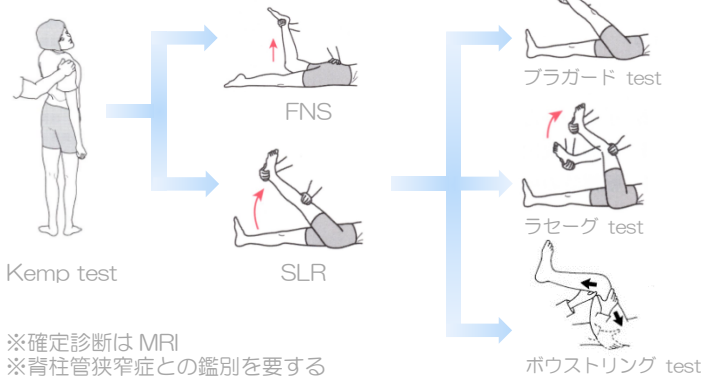
#### 【L5 神経根】



#### 【S1 神経根】



#### 5-徒手検査法



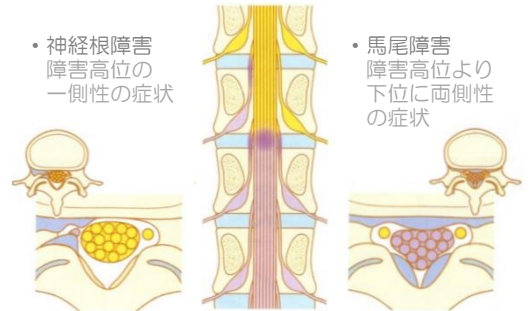
※確定診断はMRI  
 ※脊柱管狭窄症との鑑別を要する

#### 6-馬尾障害

●中心性ヘルニアにて馬尾神経を圧迫したもの。  
 末梢神経障害である。

・神経根障害  
 障害高位の一側性の症状

・馬尾障害  
 障害高位より下位に両側性の症状

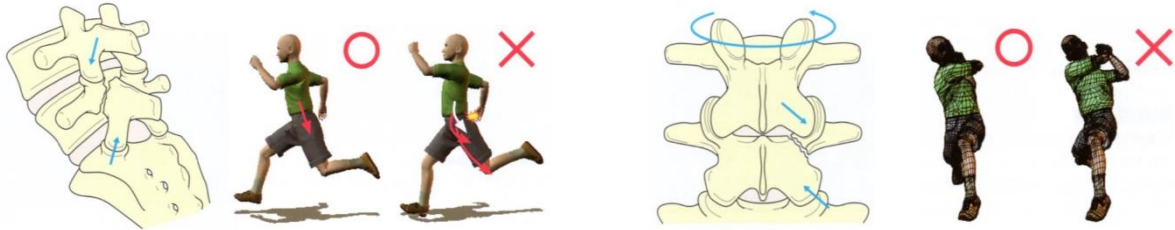


脊椎高位	上位椎間板ヘルニア	下位椎間板ヘルニア	
症状概要	大腿神経症状	坐骨神経症状	
ヘルニア高位	第3/4腰椎	第4/5腰椎	第5腰椎/第1仙椎
障害神経根	● : →	● : →	● : →
知覚障害	●大腿~下腿内側	●下腿外側~足背	●下腿後面~足底
筋力	●大腿四頭筋 / 前脛骨筋	●前脛骨筋 / 長(母)趾伸筋	●下腿三頭筋 / 長(母)趾屈筋
低下	● : →	● : →	● : →
深部腱反射	● : →	—	● : →
徒手検査法	● : →	● : →	
ヘルニア位置	外側型	●神経根障害 : 障害高位の一側性の症状として上記症状が出現。	
	正中型	●馬尾障害 : 障害高位より下位に両側性に症状。 ●S2-3 障害 : →	

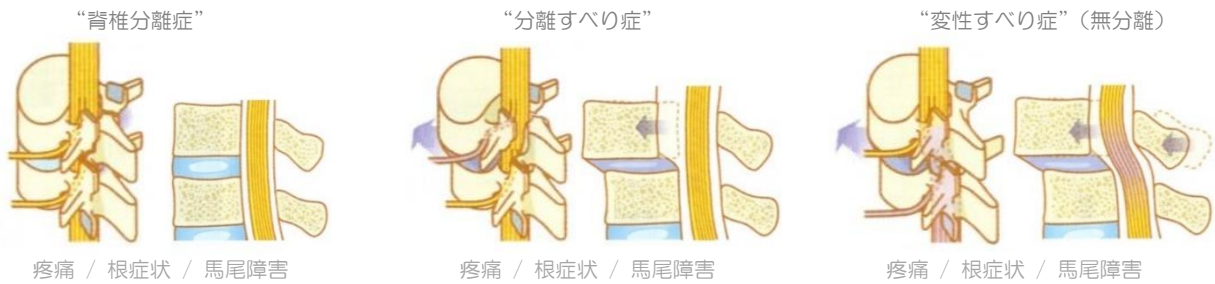
## ④ 脊椎分離症

### 1-概要

- スポーツ活動をする10代男子に多い椎弓の疲労骨折
- 後屈痛や叩打痛が出現、椎体が前方へ“すべる”と神経が障害される

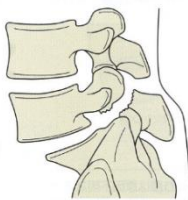


### 2-すべりと症状

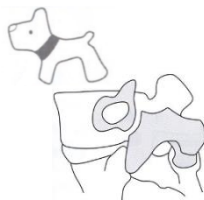


### 3-特徴/所見

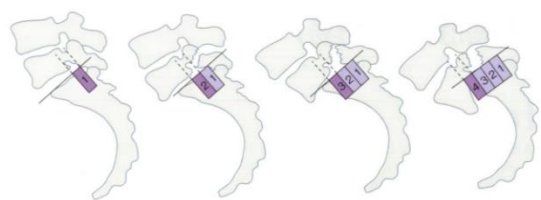
- 階段状変形



- テリアネックサイン



- Meyerdingのすべり度の分類 Grade 1~4



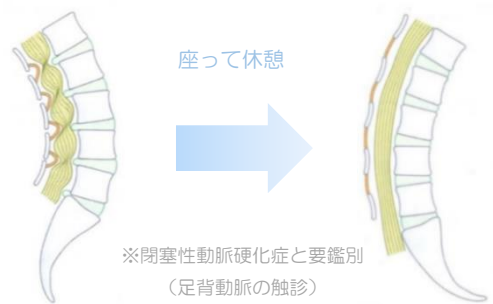
## ⑤ 脊柱管狭窄症（LCS）

### 1-概要

- 中高年に多い脊柱管の変性疾患。脊柱管が狭小し馬尾障害が出現。
- ※ヘルニア椎間板変性 / 黄色靭帯肥厚 / すべり症が要因。



※IC:  
間欠性跛行



### ※ 特異的腰痛

● 15% : 特異的腰痛
● 椎間板ヘルニア : 5%
● 脊柱管狭窄症 : 4%
● 圧迫骨折 : 4%
● Red flag : 1%
● 内臓疾患 : 1%

### ※ Red flag

● 重篤な脊椎疾患（腫瘍/感染/骨折）合併を疑う項目	● 可能性疾患	
● 発症年齢 < 20歳または > 55歳	馬尾障害（膀胱直腸障害）	
● 時間や活動に関係ない腰痛	● 体重減少	結石（腎/尿管）
● 胸部痛	● 広範囲神経症状	癌（骨転移）
● 癌/ステロイド治療/HIV 既往	● 構築性脊椎変形	骨折（圧迫）
● 栄養不良	● 発熱	炎症（化膿性脊椎/腎盂/睪）

ご清聴ありがとうございました。

## 第35-36回 練習問題

問題1 肋間筋損傷の症状で誤りはどれか

1. 皮下出血斑
2. 運動痛
3. 咳やくしゃみによる疼痛
4. 圧痛

問題2 SLRテストが偽陽性の場合に行うものはどれか

1. パトリックテスト
2. ケンプテスト
3. ニュートンテスト
4. プラガードテスト

問題3 腰椎椎間板ヘルニアの所見で誤りはどれか

1. 下肢の筋力低下
2. 下肢の感覚低下
3. 膀胱直腸障害
4. 下肢深部反射の亢進

問題4 第4・第5腰椎椎間板の突出型ヘルニアの臨床所見で正しいものはどれか

1. FNSテスト陽性
2. 長母趾伸筋の筋力低下
3. 足クローヌス陽性
4. 下腿内側の感覚障害

問題5 第5腰椎・第1仙椎椎間板ヘルニアの症状で正しいものはどれか 2つ選べ

1. 足背部の知覚障害
2. SLRテスト陽性
3. 長母趾屈筋の筋力低下
4. 膝蓋腱反射の減弱

※参考

①胸部損傷	→ティーツエ病		
	→運動痛	→肋骨骨折/介達痛	
②腰痛症	別名→ファセットシンドローム		
	鑑別→椎間板症、腰椎椎間板ヘルニア		
	炎症→スプリングバック		
	テスト→ニュートンテスト		
	疾患名→コンパートメント症候群		
	疾患名→梨状筋症候群		
③ヘルニア	→L4神経根	→L5神経根	→S1神経根
	運動障害→足関節背屈	→足趾背屈	→足趾底屈/足関節底屈
	反射→膝蓋腱反射	—	→アキレス腱反射
	検査→FNS	→SLR、プラガード etc	
	正中		→膀胱直腸障害

問題1-1 : 主症状は圧痛、運動痛である  
特に体幹の回旋で痛みが生じる  
腫脹や皮下出血斑はみられない  
とされる  
問題2-4 : フラガード、ラセーグ、ボウストリッグ  
がある  
問題3-4 : 外側ヘルニアの神経根障害や  
正中ヘルニアの馬尾障害も  
末梢神経のため反射亢進と病的反射  
は起きない  
問題4-2 : L5神経根にてSLRテスト  
腰部では中枢神経障害はない  
足クローヌスはない  
下腿内側は伏在神経障害  
問題5-2,3 : IS : 32-1  
神経根  
下腿後面、足底の知覚障害  
アキレス腱反射